

平成 2 2 事業年度

# 日本下水道事業団事業計画の概要

平成 22 年 4 月

日本下水道事業団

# 目 次

事業の基本方針 .....	1
事業計画の概要 .....	3
・ 建設工事箇所<表 - 1 > .....	5
・ 通水予定箇所<表 - 2 > .....	15
・ 実施設計箇所<表 - 3 > .....	16
・ 研修事業計画<表 - 4 > .....	18
・ 試験研究等事業計画<表 - 5 > .....	19
(参考)	
膜の導入拡大.....	20
大型複合プロジェクト支援(日本最大のMBR(膜分離活性汚泥法)) .....	21
終末処理場の維持管理の受託 .....	22
下水道事業の包括的・継続的な支援の実施.....	23
下水道長寿命化計画策定支援の拡充.....	24
「創エネ」技術、「省エネ」技術.....	25
次の時代を支える新たな技術の開発・改良・実用化.....	26
全国における下水道技術の継承に寄与する研修の実施.....	27

## 事業の基本方針

日本下水道事業団( J S )は、平成 1 5 年 1 0 月から地方共同法人として「お客様(地方公共団体) 第一の経営」、「自立的な経営」という経営理念の下、これまで 3 回の中期計画に基づき、経営の効率化、執行体制のスリム化により、毎年度収支均衡を達成しつつ、地方公共団体の様々なニーズに応えた業務運営を行っている。

受託建設事業については、平成 1 1 事業年度以降大幅に減少していたものの、近年下げ止まりの傾向を示しているところであり、事業内容としては、再構築事業に係るニーズが増加している。また、技術援助については、維持管理の時代に入り、下水道事業の経営の効率化に資する技術援助として、経営、維持管理に関する支援に対するニーズが増加している。

平成 2 2 事業年度においては、「第 3 次中期計画(平成 2 1 ~ 2 3 年度)」に基づき、引続き、地方公共団体の様々なニーズに対応した事業展開を図るため、従来の業務の中心であった処理場、ポンプ場の新增設等プロジェクトごとの支援にとどまらず、下水道の整備、運転管理、再構築等の一連のプロセスにおける機能・経営の両面にわたる包括的・継続的な支援へと業務を拡充していくこととする。

具体的には、技術援助については再構築計画策定支援のほか、アセットマネジメント導入支援、長寿命化計画策定支援業務を大幅に増加させるとともに、新たに下水処理場の維持管理事業を行うこととする。

また、研修及び試験研究業務の一層の効率化を図るとともに、民間を対象とした研修の拡充等により、国及び地方公共団体からの補助金の削減に対応することとしている。

## 平成22年度 日本下水道事業団事業計画

(単位:百万円)

区 分	平成22年度 (A)	平成21年度 (B)	比較増 減額 (A - B)	倍 率 (A/B)	
受 託 建 設 事 業	155,200	160,500	5,300	0.97	
建設工事	建 設 工 事	143,000	147,000	4,000	0.97
	地 方 単 独 工 事	7,000	8,000	1,000	0.88
	小 計	150,000	155,000	5,000	0.97
実施設計	実 施 設 計	5,100	5,100	0	1.00
	地 方 単 独 設 計	100	400	300	0.25
	小 計	5,200	5,500	300	0.95
維 持 管 理	164	-	164	-	
技 術 援 助	5,100	3,900	1,200	1.31	
研 修	326	343	18	0.95	
技 術 検 定 等	77	77	0	1.00	
試 験 研 究	518	613	95	0.85	

(注1) 債務負担行為限度額は、175,997百万円(前年度165,142百万円)です。

(注2) 上記のほかに、業務外収入・出資金返納等(1,457百万円)があるため、  
予算総額は1,628億円になります。

## 事業計画の概要

### 1. 受託建設事業

事業費 1,552 億円（前年度 1,605 億円）をもって、430 箇所の終末処理場等の建設工事を実施し、270 箇所の実施設計を行う。

### 受託建設事業の内訳

（単位：百万円）

種 別	22 年 度 ( A )		21 年 度 ( B )		倍 率 ( A ) / ( B )	
	箇 所	事 業 費	箇 所	事 業 費		
建 設 工 事	公共下水道	406	124,760	423	128,400	
	流域下水道	23	18,200	26	18,500	
	都市下水路	1	40	1	100	
	交付金等計	430	143,000	450	147,000	
	地方単独	-	7,000	-	8,000	
	計	430	150,000	450	155,000	
実 施 設 計	交 付 金 等	270	5,100	300	5,100	
	地 方 単 独	-	100	-	400	
	計	270	5,200	300	5,500	
合 計	700	155,200	750	160,500		

（注）本表のほか、債務負担額121,000百万円と地方単独債務負担額9,000百万円がある。

#### (1) 建設工事（参照：表 - 1）

終末処理場等の建設工事は、事業費 1,500 億円（ほかに債務負担額 1,300 億円）をもって、公共下水道 406 箇所（継続 292、新規 114）、流域下水道 23 箇所（継続 22、新規 1）、都市下水路 1 箇所（継続 1）、計 430 箇所（継続 315、新規 115）で実施する（前年度 450 箇所、事業費 1,550 億円、債務負担額 1,300 億円）。

なお、平成 22 年度中の通水開始予定は 76 箇所である。（参照：表 - 2）

#### (2) 実施設計（参照：表 - 3）

実施設計は、事業費 52 億円をもって、270 箇所について実施する（前年度 300 箇所、事業費 55 億円）。

## 2. 技術援助事業

事業費 51 億円（前年度 39 億円）をもって、100 箇所の計画設計を実施するとともに、終末処理場の再構築計画策定等の技術援助を行う。

## 3. 維持管理事業

終末処理場の維持管理は、事業費 1 億 6 千万円をもって、堺市で実施する。

日本最大規模の膜分離活性汚泥法処理場（60,000m<sup>3</sup>/日）の設計、建設及び維持管理まで一連のトータルサポートを行う。

## 4. 研修事業及び技術検定等事業

研修事業は、3 億 26 百万円（前年度 3 億 43 百万円）の事業費をもって、計画設計、経営、実施設計、工事監督管理及び維持管理の 5 コースについて、2,000 名の下水道担当者の研修を行う。（参照：表 - 4）

技術検定等事業は、77 百万円（前年度 77 百万円）の事業費をもって第 36 回下水道技術検定及び第 24 回下水道管理技術認定試験を行う。

## 5. 試験研究事業（参照：表 - 5）

試験研究事業は、5 億 18 百万円（前年度 6 億 13 百万円）の事業費をもって、地方公共団体のニーズに即し、水の再生・利活用、地球温暖化防止にも貢献する資源回収・省エネルギー型汚泥処理、下水道の機能持続のための再構築技術の開発を行い、迅速な実用化を図る。

さらに、新技術の汎用化のための技術評価、事後評価を行う。

表 - 1  
建設工事箇所

特環	都市名または流域名	都道府県名	施設名	処理方式	受託能力 処理場(m3/日) ポンプ場(m3/秒)
継続箇所「公共下水道」					
	室蘭市	北海道	蘭東下水処理場	標準	48,000
	登別市	北海道	若山浄化センター	OD	22,500
	沼田町	北海道	沼田浄化センター	OD	1,230
	愛別町	北海道	愛別下水道管理センター	OD	1,600
	美瑛町	北海道	美瑛下水処理場	OD	3,940
	斜里町	北海道	斜里終末処理場	標準	2,730
	豊浦町	北海道	豊浦浄化センター	OD	2,040
	つがる市	青森県	木造浄化センター	OD	1,000
	外ヶ浜町	青森県	蟹田町下水浄化センター	POD	500
	大間町	青森県	大間町浄化センター	POD	1,000
	一関市	岩手県	千厩浄化センター	OD	1,000
	二戸市	岩手県	二戸浄化センター	OD	2,200
	大槌町	岩手県	大槌浄化センター	OD	1,200
	大崎市	宮城県	師山水浄化センター	標準	14,900
	大崎市	宮城県	岩出山浄化センター	OD	1,220
	涌谷町	宮城県	涌谷浄化センター	OD	6,490
	能代市	秋田県	中川原中継ポンプ場	汚水ポンプ場	0.604
	にかほ市	秋田県	オノ神中継ポンプ場	汚水ポンプ場	0.084
	羽後町	秋田県	西馬音内浄化センター	OD	1,400
	米沢市	山形県	米沢浄水管理センター	標準	5,050
	鶴岡市	山形県	羽黒浄化センター	長時間	2,200
	鶴岡市	山形県	温海浄化センター	OD	2,300
	酒田市	山形県	酒田市クリーンセンター	標準	9,000
	新庄市	山形県	新庄市浄化センター	標準	3,000
	寒河江市	山形県	寒河江市浄化センター	標準	37,500
	長井市	山形県	長井市公共下水道管理センター	標準	13,900
	大江町	山形県	大江町浄化センター	嫌気好気ろ床	778
	会津若松市	福島県	河東浄化センター	嫌気好気ろ床	700
	白河市	福島県	白河都市環境センター	標準	4,938
	相馬市	福島県	相馬市下水処理場	標準	7,450
	三春町	福島県	三春水環境センター	OD	1,700
	楡葉町	福島県	南地区浄化センター	OD	700
	楡葉町	福島県	北地区浄化センター	OD	800
	富岡町	福島県	富岡浄化センター(福島県富岡町)	回分式	1,900
	浪江町	福島県	浪江浄化センター	OD	1,100
	古河市	茨城県	古河浄化センター	標準	11,100
	笠間市	茨城県	浄化センターいわま	OD	1,320
	笠間市	茨城県	高野前橋中継ポンプ場	汚水ポンプ場	0.043
	鹿嶋市	茨城県	鹿嶋市浄化センター	標準	21,500
	鹿嶋市	茨城県	根三田汚水中継ポンプ場	汚水ポンプ場	0.062
	坂東市	茨城県	岩井浄化センター	標準	4,000
	行方市	茨城県	玉造浄化センター	回分法+急速ろ過法	1,325
	小山市	栃木県	小山水処理センター	標準	5,575
	大田原市	栃木県	黒羽町水処理センター	OD	1,000
	さくら市	栃木県	氏家町浄化センター	OD	1,985
	茂木町	栃木県	茂木町水処理センター	OD	1,200
	飯能市	埼玉県	飯能浄化センター	標準	33,800
	羽生市	埼玉県	羽生市水質浄化センター	標準	5,600
	深谷市	埼玉県	深谷市浄化センター	標準	28,300
	坂戸、鶴ヶ島下水道組合	埼玉県	北坂戸水処理センター	標準	17,500
	木更津市	千葉県	木更津市下水処理場	嫌気無酸素好気	8,900
	茂原市	千葉県	川中島終末処理場	標準	37,410
	習志野市	千葉県	津田沼浄化センター	嫌気無酸素好気	10,500
	香取市	千葉県	佐原浄化センター	標準	11,460
	町田市	東京都	鶴見川クリーンセンター	標準	21,500
	東京都区部	東京都	森ヶ崎水処理センター	標準	1,540
	東京都区部	東京都	勝島ポンプ所	ポンプ場	24.444
	東京都区部	東京都	第二立会川幹線	シールド工法	
	鎌倉市	神奈川県	七里ガ浜下水道終末処理場	標準	48,600
	鎌倉市	神奈川県	七里ガ浜ポンプ場	汚水ポンプ場	0.983
	三浦市	神奈川県	東部浄化センター(三浦市)	標準	7,350
	秦野市	神奈川県	秦野市浄水管理センター	標準	9,380

(注)

- 1.本資料は平成22年3月31日現在の日本下水道事業団独自の調査によるものです。
- 2.印は、特定環境保全公共下水道を示します。
- 3.都市名は平成22年3月31日現在のものです。

工事概要（予定）			
土木建築	機械設備	電気設備	備考
第3機械棟他	送風機補機, 汚泥加温設備	水運転操作, 汚泥運転操作	再構築
濃縮, 貯留, 特殊その他	濃縮, 脱水, MICS 流入渠, 沈砂池, O D	汚泥運転操作計装監視, MICS 監視制御, 水運転操作	増設・再構築 再構築
	O D, 終沈設備	水運転操作, 水処理計装, 汚泥計装設備	再構築
汚泥濃縮タンク, 汚泥貯留タンク防食塗装	脱水機, 消毒・濃縮・貯留設備	汚泥処理運転操作, 汚泥処理計装設備	再構築
	沈砂池, 主ポンプ, 送風機, 消毒	水運転操作, 水処理計装	再構築
管理棟, 沈砂池, O D, 終沈	沈砂池, 主ポンプ, O D, 終沈	監視制御, 水処理計装	再構築
O D, 終沈, 自家発電	主ポンプ, O D, 終沈	自家発電, 水運転操作計装, 監視制御	増設
管理汚泥棟, 流入渠, 主ポンプ, P O D, 終沈, 消毒, 放流渠, 脱水	脱臭, 主ポンプ, P O D, 終沈, 消毒, 脱水	監視制御, 受変電, 水運転操作, 計装, 汚泥運転操作	新設
場内整備, 導水渠, P O D	導水渠, P O D	自家発電, 監視制御, 水運転操作, 計装, 汚泥運転操作, 計装	増設
	脱臭, 主ポンプ, O D, 終沈, 消毒, 脱水	自家発電, 監視制御, 受変電, 水運転操作, 水処理計装, 汚泥運転操作, 汚泥計装	新設
	脱水	汚泥運転操作, 汚泥計装	増設
場内整備, 導水渠, O D, 終沈			新設・増設
場内整備, 貯留	貯留	監視制御, 汚泥運転操作, 汚泥計装	再構築
場内整備, 脱水	脱臭, 脱水	監視制御, 汚泥運転操作, 汚泥計装, 汚泥電気	新設
場内整備, 沈砂池, 主ポンプ, 導水渠			新設・増設
流入渠, 防食, 赤川 棟	汚水ポンプ	ポンプ 運転操作, 計装	増設・再構築
汚水ポンプ 場	汚水ポンプ	受変電, ポンプ 運転操作, 計装, 監視制御	新設
O D, 終沈	主ポンプ, O D, 終沈	水運転操作, 計装	増設
	初沈, エアタン, 終沈, 濃縮, 脱水	水運転操作, 水処理計装, 汚泥運転操作, 汚泥計装	増設・再構築
管理棟, 沈砂池, 流量調整池, エアタン, 終沈, 濃縮	沈砂池, 主ポンプ, 流量調整池, エアタン, 終沈, 送風機, 消毒, 再利用, 濃縮	監視制御, 受変電, 水運転操作, 水処理計装, 汚泥運転操作, 汚泥計装	新設・再構築
管理棟	沈砂池, 主ポンプ	水運転操作, 水処理計装	再構築
消化	送風機, 濃縮, 消化, 貯留	水運転操作, 水処理計装, 汚泥運転操作, 汚泥計装	増設・再構築
	沈砂池, 主ポンプ, 濃縮, 脱水	監視制御, 水運転操作, 水処理計装, 汚泥運転操作, 汚泥計装	再構築
	沈砂池	水運転操作, 水処理計装	再構築
場内整備, 嫌気好気ろ床, 水処理棟	沈砂池, 主ポンプ 送風機, 嫌気好気ろ床	水運転操作, 水処理計装 水運転操作, 水処理計装	増設 増設
	エアタン, 送風機	水運転操作, 水処理計装	増設
	エアタン, 終沈, 脱水, 汚泥その他	水運転操作, 水処理計装, 汚泥運転操作, 汚泥計装	増設
	沈砂池, 終沈	水運転操作, 水処理計装	再構築
導水渠, O D	O D, 終沈	自家発電, 水運転操作, 水処理計装	新設・増設
	主ポンプ, O D, 終沈, 消毒	水運転操作, 水処理計装	再構築
汚泥処理棟	主ポンプ, O D, 終沈	水運転操作, 水処理計装	新設・増設
	回分槽	水運転操作, 水処理計装	再構築
	O D, 終沈, 消毒	水運転操作, 水処理計装	増設
管理棟, 水処理その他, 濃縮	初沈, エアタン, 終沈, 再利用, 濃縮, 脱水	監視制御, 水運転操作, 汚泥運転操作	増設・再構築
	脱水		増設
場内整備, 放流渠	脱臭, 汚水ポンプ	自家発電, 監視制御, ポンプ 運転操作	新設・増設
管理棟, 沈砂池, 消毒, 脱水			再構築
流入渠, 汚水ポンプ, 放流渠	脱臭, 汚水ポンプ	自家発電, 監視制御, ポンプ 運転操作	新設
場内整備, 脱水	初沈, 脱水	監視制御, 水運転操作, 汚泥運転操作	増設
場内整備, 主ポンプ, 回分槽	主ポンプ, 送風機, 砂ろ過, 回分槽	監視制御, 水運転操作, 水処理計装	増設・再構築
管廊, 初沈, エアタン, 終沈, 消毒	初沈, エアタン, 終沈, 消毒	水運転操作, 水処理計装	増設
	主ポンプ, O D, 終沈	自家発電, 水運転操作, 水処理計装	新設・増設
	O D, 終沈	水運転操作, 水処理計装	新設・増設
	O D, 終沈, 脱水	水運転操作, 汚泥運転操作, 汚泥計装	増設
エアタン, 終沈, 消毒, 濃縮	脱臭, エアタン, 終沈, 濃縮	水運転操作, 水処理計装, 汚泥運転操作, 汚泥計装	再構築
管理棟, エアタン, 終沈, 脱水	エアタン, 終沈, 脱水	水運転操作, 水処理計装, 汚泥運転操作, 汚泥計装	増設・再構築
管理棟	沈砂池, 初沈, エアタン, 終沈	水運転操作, 水処理計装	新設・増設・再構築
	脱水	監視制御, 汚泥運転操作, 汚泥計装	再構築
エアタン	エアタン, 消毒	水運転操作, 水処理計装, 水処理電気室	再構築
水処理その他	主ポンプ, 水処理その他	水処理その他	再構築
管廊, 場内整備, 送風機	沈砂池, 初沈, エアタン, 終沈, 送風機, 脱水	監視制御, 水運転操作, 汚泥運転操作	増設・再構築
初沈, エアタン, 終沈	初沈, エアタン, 終沈, 消毒	監視制御, 水運転操作, 水処理計装	再構築
沈砂池	沈砂池	水運転操作, 水処理計装	再構築
管廊			新設
場内整備			新設
管渠			新設
共通その他, 主ポンプ	主ポンプ	受変電, ポンプ設備	再構築
沈砂池, 汚水ポンプ	沈砂池, 汚水ポンプ	監視制御, 受変電, ポンプ 運転操作, ポンプ 計装	再構築
	脱水	汚泥運転操作, 汚泥計装	増設
初沈, エアタン, 終沈	初沈, エアタン, 終沈, 送風機	監視制御, 水運転操作, 水処理計装	増設

(注)

- 1.本資料は平成22年3月31日現在の日本下水道事業団独自の調査によるものです。
2. 印は、特定環境保全公共下水道を示します。
- 3.都市名は平成22年3月31日現在のものです。



特環	都市名または流域名	都道府県名	施設名	処理方式	受託能力 処理場(m <sup>3</sup> /日) ポンプ場(m <sup>3</sup> /秒)
	秦野市	神奈川県	大根川ポンプ場	雨水ポンプ場	1,733
	綾瀬市	神奈川県	浄水管理センター	標準	30,300
	綾瀬市	神奈川県	上土棚中継ポンプ場	汚水ポンプ場	0.116
	新発田市	新潟県	月岡浄化センター	OD	1,000
	十日町市	新潟県	十日町市下水処理センター	標準	24,800
	村上市	新潟県	村上浄化センター	標準	4,085
	妙高市	新潟県	新井浄化センター	標準	
	湯沢町	新潟県	浅貝浄化センター	OD	3,780
	湯沢町	新潟県	湯沢浄化センター	OD	13,800
	白山市	石川県	松任中央浄化センター	標準活性汚泥法, 回転生物接触	7,000
	勝山市	福井県	勝山浄化センター	標準	21,700
	越前町	福井県	朝日浄化センター	標準	3,000
	長野市	長野県	運動公園雨水調整池	雨水調整池	22,000
	松本市	長野県	宮淵浄化センター	標準	52,180
	上田市	長野県	南部終末処理場	標準	7,150
	上田市	長野県	菅平浄化センター	OD	4,500
	伊那市	長野県	高遠浄化センター	OD	2,600
	中野市	長野県	中野浄化管理センター	標準	16,700
	佐久市	長野県	望月浄化センター	OD	1,500
	御代田町	長野県	御代田浄化管理センター	OD	1,550
	大垣市	岐阜県	大垣浄化センター	標準+高度処理	
	中津川市	岐阜県	坂本浄化センター	OD	2,200
	瑞浪市	岐阜県	瑞浪浄化センター	担体投入型嫌気無酸素好気	8,800
	飛騨市	岐阜県	古川浄化センター	OD	2,200
	海津市	岐阜県	海津町浄化センター	高度処理OD	1,870
	海津市	岐阜県	中南部浄化センター	OD	2,350
	浜松市	静岡県	細江町浄化センター	循環式硝化脱窒	4,800
	浜松市	静岡県	井伊谷浄化センター	循環式硝化脱窒	
	御殿場市	静岡県	御殿場市第一汚水中継ポンプ場	汚水ポンプ場	0.045
	袋井市	静岡県	アクアパークあさば	標準	3,300
	湖西市	静岡県	湖西浄化センター(湖西市)	有機物及び凝集剤併用型循環式硝化脱窒法+急速ろ過法	4,510
	名古屋市	愛知県	伝馬町水処理センター	標準	80,000
	岡崎市	愛知県	大門ポンプ場	雨水ポンプ場	22,000
	春日井市	愛知県	南部浄化センター(春日井市)	ステップ流入式多段硝化脱窒法	10,500
	常滑市	愛知県	常滑浄化センター	嫌気無酸素好気	3,100
	常滑市	愛知県	常滑北部雨水ポンプ場	雨水ポンプ場	4,000
	東海市	愛知県	東海市浄化センター	ステップ流入式多段硝化脱窒法	11,550
	東海市	愛知県	下名和中継ポンプ場	汚水ポンプ場	0.295
	日進市	愛知県	南部浄化センター(日進市)	ステップ流入式多段硝化脱窒法	7,000
	あま市	愛知県	梶村ポンプ場	雨水ポンプ場	4,000
	東浦町	愛知県	森岡ポンプ場	雨水ポンプ場	2,700
	東浦町	愛知県	藤江ポンプ場	雨水ポンプ場	6,716
	四日市市	三重県	日永浄化センター第4系統	ステップ流入式多段硝化脱窒法	30,450
	鈴鹿市	三重県	南部汚水中継ポンプ場	汚水ポンプ場	0.260
	名張市	三重県	中央浄化センター	ステップ流入式多段硝化脱窒法	7,500
	甲賀市	滋賀県	土山町オー・デュ・プール	OD+砂ろ過	1,460
	宇治市	京都府	東宇治浄化センター	標準, 凝集剤併用型生物学的窒素除去法+急速ろ過法	27,300
	宇治市	京都府	井川排水機場	雨水ポンプ場	2,450
	京丹後市	京都府	網野浄化センター	OD	1,900
	宇治田原町	京都府	宇治田原浄化センター	好気性ろ床	1,550
	堺市	大阪府	三宝下水処理場	ステップ流入式多段硝化脱窒法+急速ろ過	277,000
	堺市	大阪府	大和川ポンプ場	雨水ポンプ場	39,286
	堺市	大阪府	処理水送水管	親水施設	
	神戸市	兵庫県	東灘処理場	標準	50,000
	篠山市	兵庫県	篠山スラッジセンター	汚泥乾燥	16t
	市川町	兵庫県	中部処理場	OD	1,425
	御坊市	和歌山県	塩屋処理場	OD	1,300
	みなべ町	和歌山県	みなべ浄化センター	OD	3,800
	鳥取市	鳥取県	千代水クリーンセンター	標準	6,600
	鳥取市	鳥取県	秋里下水終末処理場	標準	72,384
	玉野市	岡山県	玉野浄化センター	標準	7,200
	玉野市	岡山県	山田中継ポンプ場	汚水ポンプ場	0.036

(注)

- 1.本資料は平成22年3月31日現在の日本下水道事業団独自の調査によるものです。
- 2.印は、特定環境保全公共下水道を示します。
- 3.都市名は平成22年3月31日現在のものです。

工事概要（予定）			
土木建築	機械設備	電気設備	備考
流入渠、雨水ポンプ、放流渠 汚泥その他	雨水ポンプ 濃縮 汚水ポンプ	自家発、監視制御、ポンプ 運転操作 汚泥電気室 ポンプ 運転操作、ポンプ 計装	新設 再構築 再構築
管理棟	脱臭、OD、終沈、脱水、汚泥ポンプ室	水運転操作、水処理計装、汚泥運転操作、汚泥計装	新設・再構築
消化	主ポンプ、消化	監視制御、水運転操作、水処理計装、汚泥運転操作、汚泥計装	再構築
導水渠、終沈、消毒	主ポンプ、初沈、エアタンク、終沈、送風機 初沈、エアタンク、終沈	監視制御、水運転操作、水処理計装 監視制御、水運転操作、水処理計装	新設・増設 増設・再構築
	終沈	監視制御、受変電、水処理計装	再構築 再構築
管廊	沈砂池、主ポンプ、脱水 脱臭、主ポンプ、終沈、汚泥その他	水運転操作、水処理計装、汚泥運転操作、汚泥計装 水運転操作、水処理計装	新設・増設・再構築 新設・再構築
雨水調整池、場内整備 濃縮	雨水調整池機械設備 主ポンプ、濃縮	監視制御、受変電 雨水調整池電気設備 監視制御、水運転操作、水処理計装、汚泥運転操作、汚泥計装	増設 新設・増設・再構築
汚泥処理棟 管理棟	沈砂池、主ポンプ	監視制御、水運転操作、水処理計装	増設 再構築
流入渠	脱臭、沈砂池 濃縮、貯留	監視制御 監視制御、運転操作、計装 監視制御、汚泥運転操作、汚泥計装	再構築 再構築 新設・増設
	OD、終沈、脱水	監視制御、水運転操作、水処理計装、汚泥運転操作、汚泥計装	新設・増設
沈砂池 管理棟、場内整備、自家発、主ポンプ、消毒、吐口、脱水 初沈、エアタンク、終沈	沈砂池 主ポンプ、OD、終沈、消毒、脱水 脱臭、初沈、エアタンク、終沈 主ポンプ、OD、終沈	監視制御 自家発、監視制御、受変電、汚泥運転操作、汚泥計装 監視制御、水運転操作、水処理計装 監視制御、受変電、水運転操作、水処理計装	再構築 新設 再構築 増設
OD、終沈 管理棟、導水渠、砂ろ過	主ポンプ、OD、終沈、水処理その他 主ポンプ、OD、終沈、汚泥ポンプ室	水運転操作、水処理計装、水処理その他 水運転操作、水処理計装	増設 増設
エアタンク	エアタンク、脱水	監視制御、水運転操作、水処理計装、汚泥運転操作、汚泥計装	増設・再構築
流入渠、沈砂池、放流渠 場内整備	流入渠、沈砂池、汚水ポンプ 沈砂池、主ポンプ 初沈、エアタンク、終沈、送風機、再利用、水処理その他	自家発、監視制御、受変電、ポンプ 運転操作、ポンプ 計装 沈砂池、主ポンプ、水運転操作、水処理計装 自家発、水運転操作、水処理計装、水処理その他	新設 新設・増設 新設・増設
	初沈、簡易処理高度化施設 沈砂池、雨水ポンプ	水運転操作、水処理計装 監視制御、受変電、ポンプ 運転操作、ポンプ 計装	再構築 増設 増設
初沈、エアタンク、終沈	初沈、エアタンク、終沈、濃縮、脱水	水運転操作、水処理計装、水処理電気室、汚泥運転操作、汚泥計装、汚泥電気室	増設
管理棟、導水渠、初沈、エアタンク、終沈、汚泥その他	雨水ポンプ 導水渠、初沈、エアタンク、終沈、送風機、濃縮、脱水	自家発、監視制御、受変電、ポンプ 運転操作 監視制御、受変電、水運転操作、水処理計装、汚泥運転操作、汚泥計装	再構築 増設・再構築
場内整備	脱臭、流入渠、沈砂池、汚水ポンプ、放流渠	自家発、監視制御、受変電、ポンプ 運転操作、ポンプ 計装	新設
	主ポンプ、初沈、エアタンク、終沈、送風機	受変電、水運転操作、水処理計装、汚泥運転操作、汚泥計装	増設
場内整備、流入渠、排水その他	雨水ポンプ 沈砂池、雨水ポンプ	監視制御、ポンプ 運転操作 自家発、監視制御、受変電、ポンプ 運転操作 受変電	再構築 新設 再構築
流入渠、ポンプ棟、初沈、エアタンク、終沈 流入渠、ポンプ棟 場内整備、初沈、エアタンク、終沈 砂ろ過 場内整備、沈砂池、初沈、エアタンク、終沈、消毒、濃縮 進入道路、沈砂池 濃縮、貯留 場内整備、導水渠、初沈、好気性ろ床	汚水ポンプ 初沈、エアタンク、終沈、送風機 砂ろ過 主ポンプ、濃縮 沈砂池、雨水ポンプ 濃縮、貯留、脱水	自家発、監視制御、受変電、運転操作、計装 監視制御、水処理運転操作、水処理計装 監視制御、水運転操作、水処理計装 水運転操作、汚泥運転操作 自家発、受変電、ポンプ 運転 汚泥運転操作、汚泥計装	新設 新設 増設 再構築 新設・増設・再構築 再構築 新設 増設
自家発、流入渠、水処理、放流渠	沈砂池主ポンプ、水処理	受変電、水運転操作、汚泥運転操作	新設・増設
沈砂池、雨水ポンプ、汚水ポンプ、放流渠、吐口 親水処理施設 汚泥濃縮 管理棟 場内整備、汚泥その他	流入渠、沈砂池、雨水ポンプ、汚水ポンプ 汚泥濃縮 汚泥その他 主ポンプ、OD、終沈、消毒、再利用 脱水	監視制御、受変電、ポンプ 運転 汚泥処理運転操作 汚泥運転操作、汚泥電気室 自家発、受変電、水運転操作、汚泥運転操作 汚泥運転操作、汚泥計装	新設 新設 再構築 再構築 新設 新設
導水渠、OD、終沈 沈砂池 管理棟 エアタンク	沈砂池、主ポンプ、OD、終沈、送風機、消毒 主ポンプ、初沈、エアタンク、終沈 沈砂池、主ポンプ、導水渠、消毒 エアタンク、終沈、送風機、消毒、濃縮 脱臭、沈砂池、汚水ポンプ	水運転操作、水処理計装 監視制御、水運転操作、水処理計装 自家発、受変電、水運転操作 監視制御、受変電、ポンプ 運転操作	増設 新設・増設 新設・再構築 再構築 新設

(注)

- 1.本資料は平成22年3月31日現在の日本下水道事業団独自の調査によるものです。
- 2.印は、特定環境保全公共下水道を示します。
- 3.都市名は平成22年3月31日現在のものです。

特環	都市名または流域名	都道府県名	施設名	処理方式	受託能力 処理場(m <sup>3</sup> /日) ポンプ場(m <sup>3</sup> /秒)
	玉野市	岡山県	宇野中継ポンプ場	汚水ポンプ場	0.225
	玉野市	岡山県	宇野ポンプ場	雨水ポンプ場	7.796
	笠岡市	岡山県	笠岡終末処理場	循環式硝化脱窒	14,800
	井原市	岡山県	井原浄化センター	標準	13,550
	総社市	岡山県	総社下水処理場	標準	12,460
	備前市	岡山県	備前浄化センター	標準	7,460
	備前市	岡山県	片上ポンプ場	雨水ポンプ場	6.233
	瀬戸内市	岡山県	長船中央浄化センター	OD	2,500
	真庭市	岡山県	落合浄化センター	OD	1,220
	和気町	岡山県	和気浄化センター	OD	3,900
	美咲町	岡山県	柵原浄化センター	膜分離活性汚泥法	450
	広島市	広島県	西部水資源再生センター	標準	13,000
	広島市	広島県	新千田ポンプ場	雨水ポンプ場	9.800
	東広島市	広島県	西条雨水幹線	シールド工法	L=900m
	山口市	山口県	山口市浄水センター	ステップ	10,000
	山口市	山口県	湯田中継ポンプ場	汚水ポンプ場	0.530
	山口市	山口県	川西浄水センター	高度処理OD	1,500
	山口市	山口県	一の坂中継ポンプ場	汚水ポンプ場	0.272
	柳井市	山口県	古閑作雨水ポンプ場	雨水ポンプ場	9.050
	周南市	山口県	新地雨水ポンプ場	雨水ポンプ場	5.790
	観音寺市	香川県	下水浄化センター	標準	13,000
	八幡浜市	愛媛県	八幡浜浄化センター	標準	16,500
	新居浜市	愛媛県	下水処理場	標準	29,390
	西条市	愛媛県	東予・丹原浄化センター	OD, OD(横軸)	22,000
	西条市	愛媛県	西条浄化センター	標準	40,000
	四国中央市	愛媛県	川之江浄化センター	標準	9,500
	東温市	愛媛県	川内浄化センター	OD	2,760
	久万高原町	愛媛県	久万浄化センター	好気性ろ床	425
	伊方町	愛媛県	九町浄化センター	POD	600
	須崎市	高知県	浜町ポンプ場	雨水ポンプ場	0.330
	四万十市	高知県	桜町排水ポンプ場	雨水ポンプ場	2.600
	福岡市	福岡県	新西部水処理センター	ステップ流入式多段硝化脱窒法	15,400
	行橋市	福岡県	行橋浄化センター	標準	5,250
	岡垣町	福岡県	岡垣町浄化センター	標準	13,625
	みやこ町	福岡県	豊津浄化センター	長時間エアレーション	300
	嬉野市	佐賀県	嬉野浄化センター	OD	2,300
	長与町	長崎県	長与浄化センター	標準	18,000
	東彼杵町	長崎県	東彼杵浄化センター	OD	1,200
	川棚町	長崎県	川棚浄化センター	OD	1,950
	佐々町	長崎県	佐々浄化センター	OD	1,950
	八代市	熊本県	八代市水処理センター	標準	20,400
	人吉市	熊本県	人吉浄水苑	標準	8,300
	水俣市	熊本県	水俣市浄化センター	標準	7,800
	玉名市	熊本県	玉名市浄化センター	標準	19,200
	菊池市	熊本県	菊池市浄水センター	標準	10,600
	宇土市	熊本県	宇土終末処理場	標準	15,375
	天草市	熊本県	高浜浄化センター	膜分離活性汚泥法	620
	益城町	熊本県	益城町浄化センター	標準	4,840
	中津市	大分県	中津終末処理場	ステップ	12,200
	中津市	大分県	山国浄化センター	POD	670
	佐伯市	大分県	佐伯終末処理場(佐伯市)	標準	5,960
	佐伯市	大分県	蒲江浄化センター	膜分離活性汚泥法	500
	日出町	大分県	日出町浄化センター	標準	3,600
	宮崎市	宮崎県	佐土原浄化センター	標準	6,550
	都城市	宮崎県	中央終末処理場	標準	21,200
	小林市	宮崎県	小林浄化センター	標準	3,000
	鹿屋市	鹿児島県	鹿屋市下水処理センター	標準	3,750
	枕崎市	鹿児島県	枕崎終末処理場	長時間活性汚泥法	10,800
	出水市	鹿児島県	出水浄化センター	標準	15,750
	奄美市	鹿児島県	名瀬終末処理場	標準	17,700
	石垣市	沖縄県	川平浄化センター	OD	590
	浦添市	沖縄県	西州中継ポンプ場	汚水ポンプ場	
	名護市	沖縄県	名護下水処理場	標準	8,800

(注)

- 1.本資料は平成22年3月31日現在の日本下水道事業団独自の調査によるものです。
- 2.印は、特定環境保全公共下水道を示します。
- 3.都市名は平成22年3月31日現在のものです。

工事概要（予定）			
土木建築	機械設備	電気設備	備考
汚水ポンプ	沈砂池、雨水ポンプ	受変電、ポンプ運転操作、ポンプ計装	再構築
沈砂池、濃縮	沈砂池、初沈、終沈、濃縮、消化、脱水	監視制御、水運転操作、汚泥運転操作	再構築
		自家発	新設
	送風機	監視制御、受変電	再構築
	流入渠、沈砂池、雨水ポンプ	監視制御、受変電、水運転操作、水処理計装	再構築
	濃縮、貯留、脱水	ポンプ運転操作、ポンプ計装	再構築
管理棟、流入渠、主ポンプ、OD、終沈、放流渠、脱水		汚泥運転操作、汚泥計装	新設
主ポンプ、脱水	主ポンプ、OD、終沈、送風機、脱水	水処理施設、場内整備、放流渠、吐口、管理棟、汚泥処理棟	再構築
場内整備	脱臭、流量調整池、エアタンク、送風機、脱水	監視制御、水運転操作、汚泥運転操作	再構築
管廊、場内整備、初沈、エアタンク、終沈	初沈、汚泥その他	自家発、受変電、水運転操作、汚泥運転操作	新設
雨水ポンプ	沈砂池、雨水ポンプ	汚泥運転操作、汚泥計装	新設・増設
開削工法、推進工法、シールド工法	管渠その他	監視制御、ポンプ運転操作	増設
初沈、エアタンク、終沈、消毒、脱水	管渠その他	管渠その他	新設
沈砂池、汚水ポンプ	初沈、エアタンク、終沈、消毒	水運転操作、水処理計装、水処理電気室	再構築
場内整備、OD、終沈	沈砂池、汚水ポンプ	自家発、受変電、ポンプ運転操作	再構築
沈砂池、汚水ポンプ	OD、終沈	監視制御、水運転操作、水処理計装	増設
用地その他、場内整備	沈砂池、汚水ポンプ	自家発、受変電、ポンプ運転	再構築
場内整備	沈砂池、雨水ポンプ	自家発、受変電、ポンプ運転	新設
	雨水ポンプ	自家発、受変電、ポンプ運転操作	新設
再利用、濃縮	初沈、再利用、濃縮、消化、脱水	水運転操作、水処理計装、汚泥運転操作、汚泥計装	再構築
管理棟、汚泥その他	沈砂池、主ポンプ、脱水、汚泥その他	監視制御、水運転操作、水処理計装、汚泥運転操作、汚泥計装	新設・再構築
	消化	監視制御、汚泥運転操作、汚泥計装	再構築
流入渠、沈砂池、主ポンプ	沈砂池、主ポンプ	水運転操作、水処理計装	増設
	濃縮	汚泥運転操作	再構築
濃縮	濃縮、消化	監視制御、汚泥運転操作、汚泥計装	再構築
	脱水	監視制御、汚泥運転操作、汚泥計装	増設
	初沈、砂ろ過、好気性ろ床	監視制御、水運転操作、水処理計装	増設
場内整備、流入渠、主ポンプ、導水渠、POD、消毒、再利用、放流渠	脱臭、主ポンプ、POD、消毒、再利用、脱水	監視制御、受変電、水運転操作、水処理計装、汚泥運転操作、汚泥計装	新設
雨水ポンプ			新設
初沈、エアタンク、終沈、砂ろ過、濃縮	沈砂池、雨水ポンプ	監視制御、ポンプ運転操作、ポンプ計装	増設
			新設
	初沈、エアタンク、終沈、送風機、濃縮	自家発、水運転操作・計装、汚泥運転操作・計装	増設
管理棟、主ポンプ、濃縮	主ポンプ	監視制御、受変電、水運転操作、水処理計装	再構築
エアタンク、終沈	エアタンク、終沈、送風機	自家発、水運転操作、水処理計装	再構築
	OD、終沈、消毒	水運転操作、水処理計装	増設
	脱臭、濃縮、消化	自家発、受変電、水運転操作、水処理計装、汚泥運転操作、汚泥計装	再構築
	主ポンプ、OD、終沈、脱水	水運転操作、水処理計装、汚泥運転操作、汚泥計装	増設
導水渠、OD、終沈、濃縮	主ポンプ、導水渠、OD、終沈、濃縮	水運転操作、水処理計装、汚泥運転操作、汚泥計装	増設
管理棟、場内整備、導水渠、OD、終沈、濃縮	脱臭、OD、終沈、濃縮	監視制御、受変電、水運転操作、水処理計装、汚泥運転操作、汚泥計装	増設
	沈砂池、主ポンプ	監視制御、水運転操作、水処理計装	再構築
	脱臭、初沈、エアタンク、終沈、送風機	水運転操作、水処理計装	再構築
終沈	沈砂池、初沈、終沈、濃縮、脱水	監視制御、水運転操作計装、汚泥運転操作	増設・再構築
沈砂池	沈砂池	監視制御、受変電、水運転操作、水処理計装	再構築
エアタンク、終沈	エアタンク、終沈	受変電、水運転操作、水処理計装	増設・再構築
場内整備、沈砂池、送風機			再構築
	初沈、エアタンク、終沈、送風機、脱水	監視制御、受変電、水運転操作計装、汚泥運転操作計装	新設
場内整備、消化、脱水	沈砂池、主ポンプ、初沈、エアタンク、終沈、送風機、消化、脱水	水運転操作計装、汚泥運転操作計装	増設
管廊、初沈、エアタンク、終沈、送風機、消毒	主ポンプ	主ポンプ運転操作、計装	増設
場内整備	濃縮、脱水	汚泥運転操作、汚泥計装	新設
初沈、エアタンク、終沈	初沈、エアタンク、終沈	監視制御、水運転操作、水処理計装	増設
管理棟、流量調整池、エアタンク、終沈	流量調整池、エアタンク、終沈、脱水	受変電、自家発、水汚泥運転操作、計装、監視制御	新設
エアタンク、終沈			増設
沈砂池	脱水	汚泥運転操作・計装、監視制御	増設
	沈砂池設備	水運転操作・計装	再構築
	水処理、送風機、脱水設備	受変電、水運転操作・計装、汚泥運転操作・計装	増設
脱水	沈砂池、初沈、エアタンク、終沈、脱水	監視制御、水運転操作計装、汚泥運転計装	再構築
沈砂池、消毒、濃縮	主ポンプ、消毒、濃縮	監視制御、受変電、水運転操作、汚泥運転操作計装	再構築
初沈、消毒	沈砂池、初沈、エアタンク、消毒、再利用、脱水	水運転操作計装、汚泥運転操作計装	再構築
消化	消化	汚泥運転操作、汚泥計装	新設・再構築
汚水ポンプ	沈砂池、主ポンプ、OD、終沈、汚泥ポンプ室	水運転操作、水処理計装	再構築
管廊、消化	脱臭、沈砂池、汚水ポンプ	ポンプ運転操作、ポンプ計装	再構築
	消化	監視制御、汚泥運転操作、汚泥計装	再構築

(注)

- 1.本資料は平成22年3月31日現在の日本下水道事業団独自の調査によるものです。
- 2.印は、特定環境保全公共下水道を示します。
- 3.都市名は平成22年3月31日現在のものです。

特環	都市名または流域名	都道府県名	施設名	処理方式	受託能力 処理場(m <sup>3</sup> /日) ポンプ場(m <sup>3</sup> /秒)
	糸満市	沖縄県	糸満市浄化センター	標準	17,200
	うるま市	沖縄県	石川終末処理場	標準	5,050
	大宜味村	沖縄県	大宜味浄化センター	膜分離活性汚泥法	150
	その他102箇所				
公共下水道 継続箇所			計292箇所		

新規箇所 [ 公共下水道 ]

	別海町	北海道	別海終末処理場	OD	2,475
	能代市	秋田県	能代終末処理場	標準	
	鶴岡市	山形県	櫛引浄化センター	OD	2,900
	猪苗代町	福島県	猪苗代浄化センター	OD	3,640
	坂戸、鶴ヶ島下水道組合	埼玉県	石井水処理センター	標準	
	町田市	東京都	成瀬クリーンセンター	標準	100,000
	町田市	東京都	鶴川中継ポンプ場	汚水ポンプ場	0.070
	鎌倉市	神奈川県	山崎下水道終末処理場(鎌倉市)	標準	46,700
	鎌倉市	神奈川県	西部ポンプ場	汚水ポンプ場	0.503
	坂井市	福井県	安島汚水中継ポンプ場(他)	汚水ポンプ場	0.032
	郡上市	岐阜県	美並中央クリーンセンター	OD	900
	下呂市	岐阜県	萩原浄化センター	OD	2,700
	沼津市	静岡県	久連下水処理場	長時間暴気	612
	沼津市	静岡県	中部ポンプ場	合流式ポンプ場	16.910
	藤枝市	静岡県	藤枝市浄化センター	標準	50,100
	伊豆市	静岡県	土肥浄化センター	標準	3,862
	岡崎市	愛知県	早川ポンプ場	雨水ポンプ場	24,000
	豊田市	愛知県	梅坪ポンプ場	雨水ポンプ場	19,600
	知多市	愛知県	南部浄化センター(知多市)	ステップ流入式多段硝化脱窒法	5,500
	尾張旭市	愛知県	東部浄化センター(尾張旭市)	凝集剤併用型ステップ流入式2段硝化脱窒法	5,400
	亀山市	三重県	井田川・能褒野汚水中継ポンプ場	汚水ポンプ場	0.008
	亀岡市	京都府	年谷浄化センター	標準	6,900
	京丹後市	京都府	内ヶ森第2雨水ポンプ場	雨水ポンプ場	1,889
	泉大津市	大阪府	汐見下水処理場	標準	7,900
	泉大津市	大阪府	汐見夕風幹線	推進工法	L=350m
	箕面市	大阪府	萱野汚水中継ポンプ場	汚水ポンプ場	0.500
	泉北環境整備施設組合	大阪府	高石下水処理場	合流改善	5,500
	天理市	奈良県	嘉幡雨水ポンプ場	雨水ポンプ場	3,400
	由良町	和歌山県	由良クリーンセンター	長時間エアレーション	675
	江津市	島根県	西処理場	嫌気好気ろ床	1,013
	高梁市	岡山県	高梁浄化センター	二段循環式硝化脱窒	3,920
	尾道市	広島県	尾道市浄化センター	標準	7,000
	福山市	広島県	松永浄化センター	標準	6,675
	廿日市市	広島県	廿日市市浄化センター	標準	
	山口市	山口県	小郡町浄化センター	標準	18,300
	大津町	熊本県	大津町浄化センター(熊本県大津町)	標準	1,200
	日田市	大分県	日田終末処理場	標準	34,740
	国東市	大分県	国東浄化センター	OD	1,350
	石垣市	沖縄県	石垣西浄化センター	標準	3,480
	浦添市	沖縄県	西原ポンプ場	汚水ポンプ場	0.061
	その他74箇所				
公共下水道 新規箇所			計114箇所		

継続箇所 [ 流域下水道 ]

	最上川流域下水道(村山)	山形県	村山浄化センター	標準	33,900
	最上川流域下水道(山形)	山形県	山形浄化センター	標準	97,000
	神通川左岸流域下水道(神通川左岸)	富山県	神通川左岸浄化センター	嫌気無酸素好気+急速ろ過	65,500
	諏訪湖流域下水道(豊田)	長野県	豊田終末処理場	凝集剤併用型循環式硝化脱窒+急速ろ過	
	千曲川流域下水道(下流)	長野県	クリーンピア千曲	標準	16,000
	犀川安曇野流域下水道(安曇野)	長野県	安曇野終末処理場	標準	8,400
	狩野川流域下水道(東部)	静岡県	狩野川東部浄化センター	標準	13,500
	狩野川流域下水道(西部)	静岡県	狩野川西部浄化センター	標準	27,000
	静清流域下水道(静岡)	静岡県	静岡浄化センター	標準	33,500
	矢作川・境川流域下水道(矢作川)	愛知県	矢作川浄化センター	ステップ流入式多段硝化脱窒法	20,000
	琵琶湖流域下水道(湖南中部)	滋賀県	湖南中部浄化センター(琵琶湖流域)	凝集剤添加加勢汚泥循環変法+砂ろ過法、凝集剤添加多段硝化脱窒法+砂ろ過法	35,500
	琵琶湖流域下水道(東北部)	滋賀県	東北部浄化センター(琵琶湖流域)	凝集剤添加加勢汚泥循環変法+砂ろ過法、凝集剤添加多段硝化脱窒法+砂ろ過法	19,250
	兵庫東流域下水汚泥処理(兵庫東流域)	兵庫県	西宮3号管	送泥管	送泥管L=3,000m
	宍道湖流域下水道(東部)	島根県	宍道湖東部浄化センター	循環式硝化脱窒	27,000
	宍道湖流域下水道(西部)	島根県	宍道湖西部浄化センター	標準	36,000
	児島湖流域下水道(児島湖)	岡山県	児島湖浄化センター	ステップ流入式3段硝化脱窒法+急速ろ過	39,375
	浦戸湾東部流域	高知県	高須浄化センター	標準	3,910
	熊本北部流域下水道(熊本北部)	熊本県	弓削ポンプ場	汚水ポンプ場	
	その他4箇所				

(注)

- 1.本資料は平成22年3月31日現在の日本下水道事業団独自の調査によるものです。
- 2.印は、特定環境保全公共下水道を示します。
- 3.都市名は平成22年3月31日現在のものです。

工事概要（予定）			
土木建築	機械設備	電気設備	備考
管廊、貯留 場内整備、流入渠	沈砂池、主ポンプ 終沈、貯留 主ポンプ、反応タンク、用水、濃縮、特殊その	監視制御、水運転操作、水処理計装 水運転操作、水処理計装 受変電、水運転操作、計装、汚泥運転操作、計	再構築 再構築 新設

管理棟、OD、終沈 流入渠、主ポンプ、導水渠 流入調整施設、汚泥調整施設	OD、終沈 主ポンプ 流入調整設備、汚泥調整設備 沈砂池、主ポンプ、終沈	水運転操作、水処理計装 水処理・汚泥処理運転操作設備、計装設備 水運転操作、水処理計装 受変電	再構築 増設 増設 再構築 再構築 再構築 増設
初沈、エアタンク、終沈			再構築 再構築 再構築 増設
沈砂池、汚水ポンプ 共通その他 場内整備、OD、終沈 終沈	濃縮 沈砂池、汚水ポンプ 汚水ポンプ	汚泥運転操作、汚泥計装 監視制御、受変電、ポンプ運転操作、ポンプ計装 自家発、受変電、ポンプ運転操作	再構築 再構築 新設・再構築 増設
管理棟、エアタンク、終沈 電気室 管理棟、沈砂池ポンプ棟 水処理棟 管理棟、放流渠	雨水ポンプ エアタンク、終沈、濃縮 雨水ポンプ 焼却	ポンプ運転操作、ポンプ計装 監視制御、水処理運転操作、水処理計装 監視制御、ポンプ運転操作	再構築 再構築 再構築 再構築 再構築 再構築
エアタンク、貯留 管理棟、流入渠、放流渠	初沈、エアタンク、終沈、送風機 ポンプ設備、除塵設備 脱臭	監視制御、水処理運転操作、水処理計装 監視制御、水処理運転操作、水処理計装 汚泥運転操作、汚泥計装	再構築 新設 増設 新設
流入渠、沈砂池、雨水ポンプ、放流渠 初沈 開削工法、推進工法、人孔	初沈 初沈	水運転操作、水処理計装 水運転操作、水処理計装	再構築 新設 再構築 新設
水処理その他 雨水ポンプ 場内整備 場内整備、エアタンク	沈砂池 水処理その他 沈砂池、雨水ポンプ 主ポンプ、エアタンク、終沈、送風機、脱水 エアタンク 消化	監視制御 監視制御、水運転操作、水処理計装 自家発、受変電、ポンプ運転操作、ポンプ計装 水運転操作、水処理計装 水運転操作、水処理計装 汚泥運転操作、汚泥計装 自家発	再構築 新設 新設 新設・増設 増設 再構築 再構築 増設
エアタンク、脱水 管理棟 管理棟、貯留 場内整備、導水渠、OD、終沈 導水渠、初沈、エアタンク、終沈 汚水ポンプ	砂ろ過、汚泥貯留 初沈、エアタンク、終沈、送風機 エアタンク、送風機、脱水 脱水 消化、汚泥その他 導水渠、OD、終沈、消毒 導水渠、初沈、エアタンク、終沈 脱臭、沈砂池、汚水ポンプ	汚泥運転操作、計装 水運転操作、水処理計装 水運転操作、汚泥運転操作 監視制御、受変電、汚泥運転操作、汚泥計装 汚泥運転操作、汚泥計装、汚泥その他 水運転操作、水処理計装 監視制御、水運転操作、水処理計装 ポンプ運転操作、ポンプ計装	再構築 新設・増設 再構築 再構築 増設・再構築 増設 増設 再構築

溶融	沈砂池 沈砂池、汚泥その他 脱臭、乾燥、溶融 終沈、焼却	水運転操作 監視制御、水運転操作、汚泥その他 監視制御、受変電、汚泥運転操作、汚泥計装 共通その他、水運転操作、汚泥運転操作、汚泥計装	再構築 再構築 新設・増設 再構築
初沈、エアタンク、終沈 初沈、エアタンク、終沈	脱臭、初沈、エアタンク、終沈、消毒、焼却 沈砂池、初沈、エアタンク、終沈、消毒 初沈、エアタンク、終沈	監視制御、受変電、運転操作、計装 水運転操作、水処理計装 監視制御、水運転操作、水処理計装	増設 新設・増設 増設 増設
共通その他、水処理その他	初沈、エアタンク、終沈、消毒、砂ろ過	監視制御、水運転操作、水処理計装	新設・増設
エアタンク、汚泥その他	沈砂池、主ポンプ、水処理、濃縮、脱水	受変電、水運転操作、汚泥運転操作	新設・増設・再構築
内挿管 管理棟、初沈、エアタンク、終沈、汚泥その他 初沈、エアタンク、終沈、送風機	初沈、エアタンク、終沈、消化 初沈、エアタンク、終沈、送風機	水運転操作、水処理計装 水運転操作、水処理計装	新設 再構築 増設・再構築
管理棟、主ポンプ、エアタンク	エアタンク、終沈、砂ろ過、濃縮、脱水	受変電、水運転操作、汚泥運転操作	増設・再構築
沈砂池	エアタンク、終沈、脱水 沈砂池	監視制御、受変電、水運転操作、水処理計装、汚泥運転操作、汚泥計装 自家発	増設・再構築 再構築

（注）

- 1.本資料は平成22年3月31日現在の日本下水道事業団独自の調査によるものです。
- 2.印は、特定環境保全公共下水道を示します。
- 3.都市名は平成22年3月31日現在のものです。

特環	都市名または流域名	都道府県名	施設名	処理方式	受託能力 処理場(m3/日) ポンプ場(m3/秒)
	流域下水道	継続箇所			計22箇所
新規箇所〔流域下水道〕					
	1箇所		流域下水道 新規箇所		1箇所
継続箇所〔都市下水路〕					
	1箇所		都市下水路 継続箇所		1箇所

(注)

- 1.本資料は平成22年3月31日現在の日本下水道事業団独自の調査によるものです。
2. 印は、特定環境保全公共下水道を示します。
- 3.都市名は平成22年3月31日現在のものです。

工事概要（予定）			備考
土木建築	機械設備	電気設備	

（注）

- 1.本資料は平成22年3月31日現在の日本下水道事業団独自の調査によるものです。
2. 印は、特定環境保全公共下水道を示します。
- 3.都市名は平成22年3月31日現在のものです。



表 - 2  
平成22年度通水予定箇所

都市名または流域名	都道府県名	施設名	通水予定	通水規模 処理場(m <sup>3</sup> /日) ポンプ場(m <sup>3</sup> /秒)	備考
つがる市	青森県	木造浄化センター	平成23年2月	1,000	増設
大間町	青森県	大間町浄化センター	平成23年2月	1,000	新設
二戸市	岩手県	二戸浄化センター	平成22年12月	1,000	増設
一関市	岩手県	千厩浄化センター	平成23年3月	1,000	新設
にかほ市	秋田県	オノ神中継ポンプ場	平成23年2月	0.084	新設
最上川流域下水道(村山)	山形県	村山浄化センター	平成23年3月	8,870	再構築
最上川流域下水道(山形)	山形県	山形浄化センター	平成23年3月	15,000	再構築
米沢市	山形県	米沢浄水管理センター	平成23年2月	5,050	増設・再構築
鶴岡市	山形県	櫛引浄化センター	平成23年3月	2,900	増設
新庄市	山形県	新庄市浄化センター	平成23年3月	3,000	再構築
檜葉町	福島県	北地区浄化センター	平成23年3月	800	新設・増設
浪江町	福島県	浪江浄化センター	平成23年3月	1,100	増設
越前町	福島県	朝日浄化センター	平成23年3月	3,000	改築
堺市	大阪府	処理水送水管	平成23年3月	500	増設
泉大津市	大阪府	汐見下水処理場	平成23年3月	7,900	改築
泉大津市	大阪府	汐見夕風幹線	平成23年3月	L=350m	新設
箕面市	大阪府	萱野汚水中継ポンプ場	平成23年3月	0.500	改築
兵庫東流域下水汚泥処理(兵庫東流域)	兵庫県	西宮3号管	平成23年3月	L=3,000m	新設
神戸市	兵庫県	東灘処理場	平成23年3月	50,000	改築
篠山市	兵庫県	篠山スラッジセンター	平成23年3月	16t	改築
市川町	兵庫県	中部処理場	平成22年12月	1,425	新設
玉野市	岡山県	山田中継ポンプ場	平成23年3月	0.036	新設
玉野市	岡山県	宇野中継ポンプ場	平成23年3月	0.225	改築
玉野市	岡山県	宇野ポンプ場	平成23年3月	7,796	改築
高梁市	岡山県	高梁浄化センター	平成23年3月	3,920	改築
備前市	岡山県	備前浄化センター	平成23年3月	7,460	改築
備前市	岡山県	片上ポンプ場	平成23年3月	6,233	改築
美咲町	岡山県	柵原浄化センター	平成23年3月	450	新設
山口市	山口県	山口市浄水センター	平成23年3月	10,000	改築
山口市	山口県	湯田中継ポンプ場	平成23年3月	0.530	改築
山口市	山口県	一の坂中継ポンプ場	平成23年3月	0.272	改築
周南市	山口県	新地雨水ポンプ場	平成23年3月	5,790	新設
観音寺市	香川県	観音寺市下水浄化センター	平成23年3月	13,000	再構築
四国中央市	愛媛県	川之江浄化センター	平成23年3月	9,500	再構築
四万十市	高知県	桜町排水ポンプ場	平成23年3月	2,600	増設
須崎市	高知県	浜町ポンプ場	平成23年3月	0.660	新設
嬉野市	佐賀県	嬉野浄化センター	平成23年3月	2,300	増設
東彼杵町	長崎県	東彼杵浄化センター	平成23年3月	1,200	増設
小林市	宮崎県	小林浄化センター	平成23年3月	3,000	増設
大宜味村	沖縄県	大宜味浄化センター	平成22年10月	150	新設

その他36箇所  
計76箇所

(注)

- 1.本資料は平成22年3月31日現在の日本下水道事業団独自の調査によるものです。
- 2.都市名は平成22年3月31日現在のものです。

表 - 3  
実施設計箇所

特環	都市名または流域名	都道府県名	施設名	処理方式	受託能力 処理場(m <sup>3</sup> /日) ポンプ場(m <sup>3</sup> /秒)	設計内容
継続箇所「公共下水道」						
	室蘭市	北海道	蘭東下水処理場	標準	48,000	詳細設計
	愛別町	北海道	愛別下水道管理センター	O D	1,600	詳細設計
	上富良野町	北海道	上富良野浄化センター	O D	3,240	詳細設計
	東北町	青森県	上北中央環境センター	O D	900	詳細設計
	東北町	青森県	東北町浄化センター	O D	900	詳細設計
	山田町	岩手県	山田浄化センター	O D	1,000	詳細設計
	鶴岡市	山形県	温海浄化センター	O D	4,600	詳細設計
	酒田市	山形県	酒田市クリーンセンター	標準	41,900	詳細設計
	長井市	山形県	長井市公共下水道管理センター	標準	15,000	詳細設計
	会津若松市	福島県	会津若松市下水浄化工場	標準	50,200	詳細設計
	猪苗代町	福島県	猪苗代浄化センター	O D	9,100	詳細設計
	秩父市	埼玉県	秩父市下水道センター	標準	26,340	詳細設計
	飯能市	埼玉県	飯能浄化センター	標準	57,900	詳細設計
	東松山市	埼玉県	市野川終末処理場	標準	35,800	詳細設計
	君津富津広域下水道組合	千葉県	君津富津終末処理場	標準	54,640	詳細設計
	町田市	東京都	成瀬クリーンセンター	標準		詳細設計
	町田市	東京都	鶴見川クリーンセンター	標準	86,000	基本設計, 詳細設計
	鎌倉市	神奈川県	七里ヶ浜処理場	標準	48,600	詳細設計
	鎌倉市	神奈川県	中部ポンプ場	汚水ポンプ場	0.417	詳細設計
	綾瀬市	神奈川県	浄水管理センター	標準	50,500	詳細設計
	柏崎市	新潟県	柏崎市自然環境浄化センター	標準	54,500	詳細設計
	十日町市	新潟県	十日町市下水処理センター	標準	24,800	詳細設計
	村上市	新潟県	村上浄化センター	標準	21,600	詳細設計
	妙高市	新潟県	新井浄化センター	標準	16,500	詳細設計
	湯沢町	新潟県	浅貝浄化センター	O D	3,780	詳細設計
	湯沢町	新潟県	湯沢浄化センター	O D	13,800	詳細設計
	白山市	石川県	松任中央浄化センター	標準活性汚泥法, 回転生物接触	35,000	
	勝山市	福井県	勝山浄化センター	標準	21,700	詳細設計
	坂井市	福井県	安島汚水中継ポンプ場(他)	汚水ポンプ場	0.168	詳細設計
	松本市	長野県	宮淵浄化センター	標準	142,310	詳細設計
	上田市	長野県	西内浄化センター	O D	3,300	詳細設計
	小諸市	長野県	小諸浄化管理センター	標準	11,800	詳細設計
	伊那市	長野県	高遠浄化センター	O D	2,600	詳細設計
	塩尻市	長野県	塩尻市浄化センター	標準	33,700	詳細設計
	野沢温泉村	長野県	野沢温泉終末処理場	回転生物接触	9,700	詳細設計
	沼津市	静岡県	久連下水処理場	長時間	612	詳細設計(再)
	沼津市	静岡県	中部ポンプ場	合流式ポンプ場	4.167	詳細設計(再)
	掛川市	静岡県	掛川浄化センター	標準	14,300	詳細設計
	一宮市	愛知県	柳戸ポンプ場	雨水ポンプ場	1.167	詳細設計(再)
	瀬戸市	愛知県	西部終末処理場	ステップ流入式 多段硝化脱窒法	48,700	詳細設計
	尾張旭市	愛知県	東部浄化センター	凝集剤併用型ス テップ流入式2 段硝化脱窒法	16,200	詳細設計
	あま市	愛知県	梶村ポンプ場	雨水ポンプ場	4.000	詳細設計(再)
	四日市市	三重県	日永浄化センター	ステップ流入式多段 硝化脱窒法	60,900	詳細設計
	桑名市	三重県	長島浄化センター	ステップ流入式 多段硝化脱窒法	2,500	詳細設計
	亀岡市	京都府	年谷浄化センター	標準	50,800	基本設計(再)
	宇治田原町	京都府	郷之口ポンプ場	汚水ポンプ場	0.040	詳細設計
	堺市	大阪府	大和川ポンプ場	雨水ポンプ場	39.286	詳細設計
	出雲市	島根県	口田儀浄化センター	P O D	300	詳細設計
	笠岡市	岡山県	笠岡終末処理場	循環式硝化脱窒	47,500	詳細設計
	総社市	岡山県	総社下水処理場	標準	37,400	詳細設計
	江田島市	広島県	大柿浄化センター	P O D	2,110	詳細設計
	山口市	山口県	山口市浄水センター	ステップ	75,000	詳細設計
	山口市	山口県	小郡町浄化センター	標準	18,300	基本設計(再), 詳細設計
	中津市	大分県	中津終末処理場	ステップ	54,200	詳細設計
	中津市	大分県	山国浄化センター	P O D	670	詳細設計
	石垣市	沖縄県	5号雨水幹線・6号雨水幹線	開削工法	31	詳細設計
	名護市	沖縄県	名護下水処理場	標準	26,400	詳細設計
	糸満市	沖縄県	糸満市浄化センター	標準	34,400	詳細設計
	うるま市	沖縄県	石川終末処理場	標準	12,500	詳細設計
	本部町	沖縄県	本部町浄化センター	標準	9,000	詳細設計
その他 24箇所						
公共下水道		継続箇所		計 84箇所		

新規箇所「公共下水道」						
	能代市	秋田県	能代終末処理場	標準	12,900	詳細設計
	上田市	長野県	上田終末処理場	標準	47,750	詳細設計
	上田市	長野県	菅平浄化センター	O D	4,500	詳細設計
	郡上市	岐阜県	大和中央浄化センター	O D	300	詳細設計
	藤枝市	静岡県	藤枝市浄化センター	標準	50,200	詳細設計(再)

(注)

1. 本資料は平成22年3月31日現在の日本下水道事業団独自の調査によるものです。
2. 印は、特定環境保全公共下水道を示します。
3. 都市名は平成22年3月31日現在のものです。

特環	都市名または流域名	都道府県名	施設名	処理方式	受託能力 処理場(m <sup>3</sup> /日) ポンプ場(m <sup>3</sup> /秒)	設計内容
	御殿場市	静岡県	御殿場浄化センター	標準	21,000	詳細設計(再)
	知多市	愛知県	南部浄化センター	ステップ流入式多段 硝化脱窒法	35,600	詳細設計(再)
	川越町	三重県	川越排水機場	雨水ポンプ場	36.000	詳細設計(再)
	泉北環境整備施設組合	大阪府	高石下水処理場	合流改善	5,500	詳細設計
	出雲市	島根県	南本町汚水中継ポンプ場	汚水ポンプ場	0.060	基本設計
	諫早市	長崎県	飯盛浄化センター	O D	1,800	詳細設計
	豊後高田市	大分県	香々地浄化センター	O D	1,200	詳細設計見直し
	国東市	大分県	武蔵東部浄化センター	O D	2,000	基本設計見直し
	宜野湾市	沖縄県	普天間中継ポンプ場	汚水ポンプ場	0.060	詳細設計
	うるま市	沖縄県	第1中継ポンプ場	汚水ポンプ場	0.113	詳細設計
その他 150箇所		公共下水道	新規箇所	計 165箇所		

継続箇所「流域下水道」						
	最上川流域下水道(山形)	山形県	山形浄化センター	標準	210,000	詳細設計
	琵琶湖流域下水道(湖南中部)	滋賀県	湖南中部浄化センター	凝集剤添加多段 硝化脱窒法+砂 ろ過法	788,000	詳細設計
	穴道湖流域下水道(東部)	島根県	穴道湖東部浄化センター	循環式硝化脱窒	146,650	基本設計, 詳細設計
	穴道湖流域下水道(西部)	島根県	穴道湖西部浄化センター	標準	114,240	詳細設計
	児島湖流域下水道(児島湖)	岡山県	児島湖浄化センター	ステップ流入式 3段硝化脱窒法 +急速ろ過	432,000	詳細設計
その他 8箇所		流域下水道	継続箇所	計 13箇所		

新規箇所「流域下水道」						
	狩野川流域下水道(東部)	静岡県	狩野川東部浄化センター	標準	122,500	詳細設計(再)
	狩野川流域下水道事業(西部)	静岡県	狩野川西部浄化センター	標準	162,900	詳細設計(再)
	琵琶湖流域下水道(湖西)	滋賀県	湖西浄化センター	凝集剤添加多段 硝化脱窒法+砂 ろ過法	117,000	詳細設計
その他 3箇所		流域下水道	新規箇所	計 6箇所		

新規箇所「都市下水路」						
2箇所		都市下水路	新規箇所	2箇所		

(注)

1. 本資料は平成22年3月31日現在の日本下水道事業団独自の調査によるものです。
2. 印は、特定環境保全公共下水道を示します。
3. 都市名は平成22年3月31日現在のものです。

平成22年度研修事業計画

コ-ス	専 攻	クラス	研修期間(日)	研修人員(人)	備考
計画設計	下水道入門	初	5	30	
	事業計画(認可)・流総計画	中	10	120	
	総合的な雨水対策	中	5	20	
	下水道事業におけるアセットマネジメント	特	3	25	
	下水道長寿命化計画	特	3	60	
	地球温暖化防止と省エネ技術	特	4	20	
経営	包括的民間委託と指定管理者制度	中	4	30	
	接続・水洗化促進と情報公開	中	5	35	
	技術者のための下水道経営	中	3	30	
	経営専科	中 特	5	205	
実施設計	管きょ設計	初	12	250	
	管きょ設計	中(指)	17	250	資格認定コース
	推進工法	中	11	70	
	設計専科	中	3・5	90	
	処理場設計	初	5	30	
	処理場設計	中(指)	17	40	資格認定コース
	処理場設備の設計	中	10・11	70	
	設備の改築更新	中	4	35	
工事監督管理	工事管理	中(指)	17	40	資格認定コース
	工事検査と品質管理	中	5	25	
維持管理	管きょの維持管理	初・中	10	70	
	管きょの不明水対策	初・中	4	30	
	処理場管理	初	4・11	130	
	処理場管理	中(指)	12	135	資格認定コース
	処理場マネジメント	特	5	25	
	水質管理	初	17	25	
	水質管理	中	10	25	
	包括的民間委託における契約と履行確認	特	3	30	
	管理専科	中	4・11	55	
合 計				2,000	

(注)1.クラスの欄の初・中・特は、初級クラス・中級クラス・特別クラスを示します。

2.(指)は、法定資格が取得できる指定講習を示します。

平成 2 2 年度試験研究等事業計画

開発基本目標等	試 験 研 究 テ ー マ
1 . 水再生・利活用システム技術の開発	(1) リン回収を目的とした安定的な生物学的リン除去法の技術開発（新規） (2) バイオテクノロジーを活用した次世代型水処理プロセスの開発（継続）
2 . サステナブル下水道実現のための再構築技術開発	(3) 下水道施設の機能維持手法に関する調査（新規）
3 . 地球温暖化防止等に向けた資源回収・省エネルギー型汚泥処理システム技術の開発	(4) 下水道における新しいエネルギー転換・回収技術の開発（継続）
4 . 技術の評価	(5) 新技術導入の評価に関する調査（継続）
5 . 既存技術の再評価	(6) 新技術導入の事後評価に関する調査（継続）
6 . 国受託	国から受託するテーマ
7 . 地方受託	地方公共団体等から受託するテーマ

# 【参考】 JSの主な取組み(H22年度)

- ① 膜の導入拡大
- ② 大型複合プロジェクト支援（日本最大のMBR(膜分離活性汚泥法)）
- ③ 終末処理場の維持管理の受託
- ④ 下水道事業の包括的・継続的な支援の実施
- ⑤ 下水道長寿命化計画策定支援の拡充
- ⑥ 「創エネ」技術、「省エネ」技術
- ⑦ 次の時代を支える新たな技術の開発・改良・実用化
- ⑧ 全国における下水道技術の継承に寄与する研修の実施

## 膜の導入拡大

日本最大規模の「膜分離活性汚泥法 (MBR)」の建設に着手  
(平成22年 堺市三宝下水処理場 60,000m<sup>3</sup>/日)

- ・設計、建設、維持管理に至るトータルサポート体制を確立
- ・他の大規模処理場にMBRを導入する際の、ノウハウを蓄積

「膜分離活性汚泥法」の事後評価 (平成21～22年度)

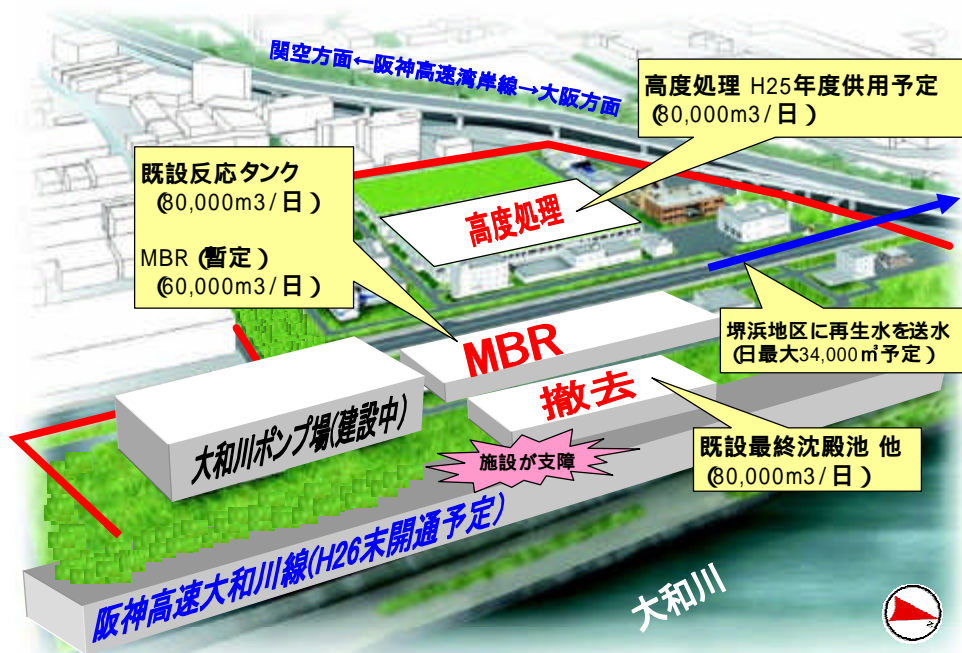
- ・全国10施設の稼動を受け、実施設での処理性能等を検証・事後評価
- ・低コストで早期整備可能な小規模「パッケージ型膜分離活性汚泥法」の実証フォロー  
(岩手県二戸市浄法寺浄化センター)

国土交通省「日本版次世代MBR技術展開プロジェクト(A-JUMP)」に参画

NEDO「省水型 環境調和型水循環プロジェクト」に参加し、省エネ型膜分離活性汚泥法の開発を民間会社との共同により着手

# 大型複合プロジェクト支援 (日本最大のMBR(膜分離活性汚泥法))

(堺市三宝下水処理場プロジェクト)



建設中の新水処理施設 (凝集剤添加担体ステップ流入式多段硝化脱窒法)  
正面に湾岸線を臨む

## 関連事業促進への提案

- ・ 阪神高速の早期着工に向け、既設水処理を稼働させながらコンパクトなMBRへの改造を提案

## 大規模MBRの適用拡大に向けて・・・

- ・ JSによる設計-建設-維持管理に至るトータルサポート
- ・ 維持管理コストも低減
- ・ 蓄積したノウハウを活用

## 日本最大規模の再生水送水事業(H21年8月～)一部供給開始

- ・ 堺浜地区の31事業所に、日量最大34,000m<sup>3</sup>供給予定

## 大阪湾の水質改善に向けた高度処理化

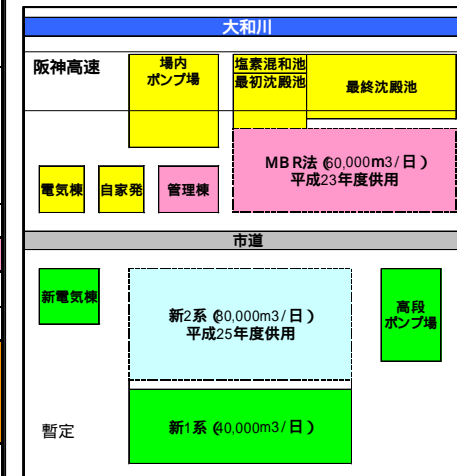
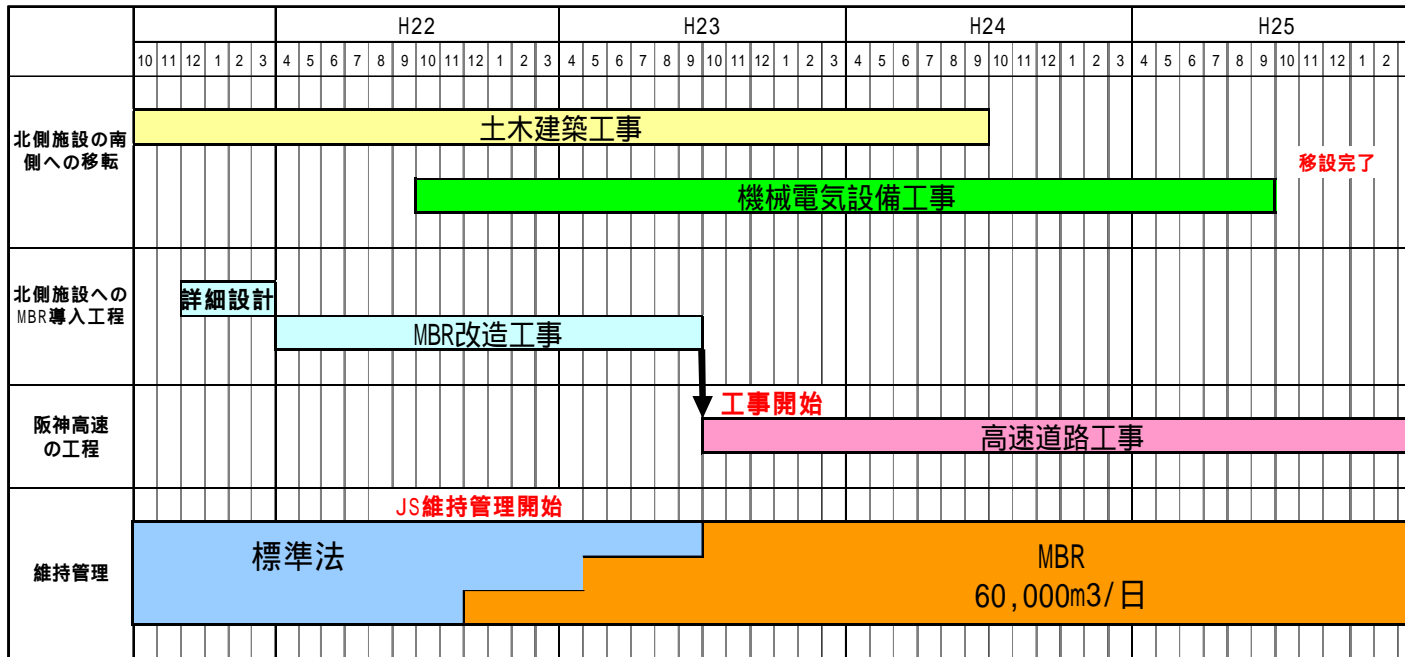
- ・ 凝集剤添加担体ステップ流入式多段硝化脱窒法  
(80,000m<sup>3</sup>/日)



# 終末処理場の維持管理の受託

- 日本で最初の大規模MBRであることから、MBRに関するノウハウを有するJSが堺市から設計、建設に続き維持管理も受託。MBRは、堺市三宝処理場の北側施設の一部が、阪神高速大和川線建設に伴い道路用地となるため、現在建設中の南側代替施設が完成する遅くとも平成25年度末までの暫定施設である。
- 維持管理の受託は、平成22年8月から平成25年度末までの予定。

堺市三宝下水処理場大規模MBR導入に伴う日1系施設維持管理計画



# 下水道事業の包括的・継続的な支援の実施

AMDBの導入及び継続的な活用開始箇所は順調に増加。  
**(H22年度 16箇所予定 (H21年度 :12箇所))**

H21年度からスタートした包括的「安心サポート」も着実に増加。  
**(H21年度の2箇所に加え、H22は新たに2箇所と協定予定。)**

アセットマネジメント手法導入支援箇所も増加傾向。  
**(H22年度は 8箇所から受託予定 (H21年度 :9箇所))**

図 AMDB導入・活用箇所数の推移(累積)

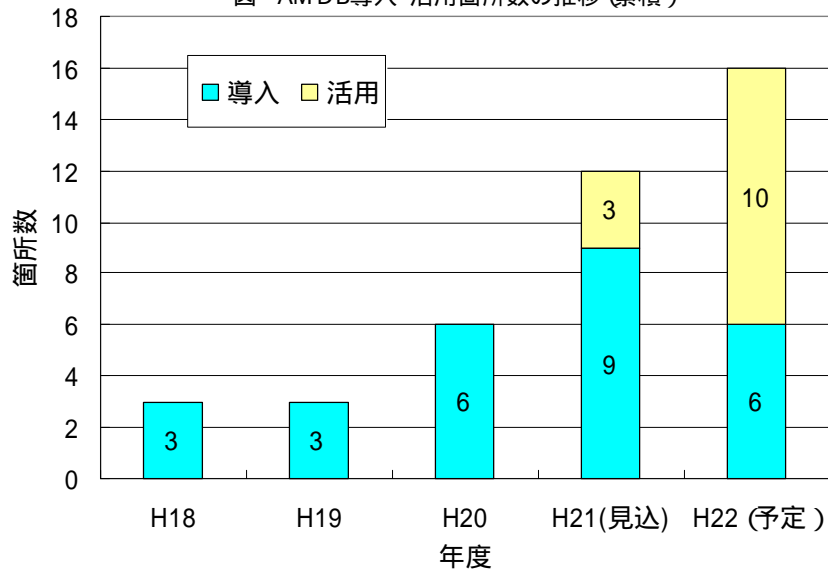
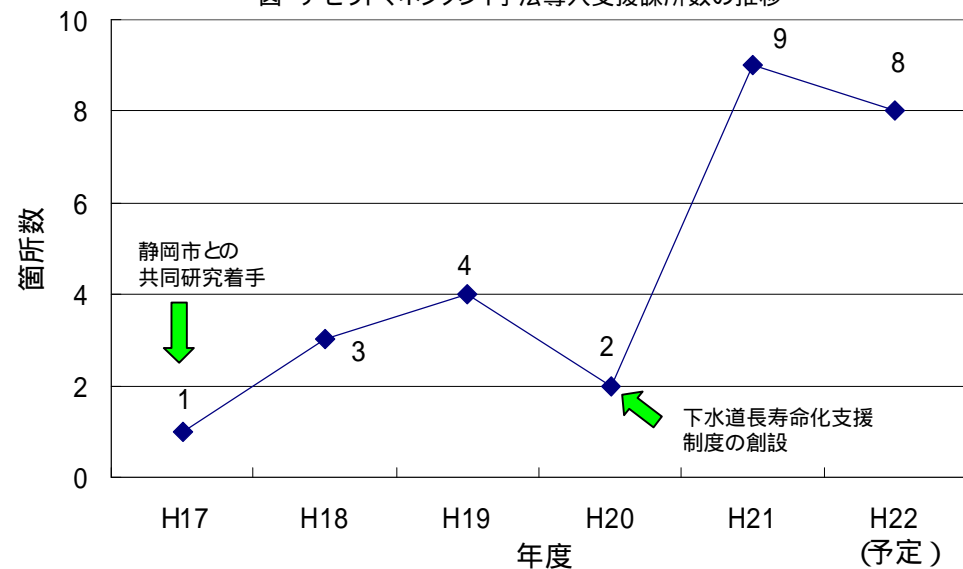


図 アセットマネジメント手法導入支援箇所数の推移

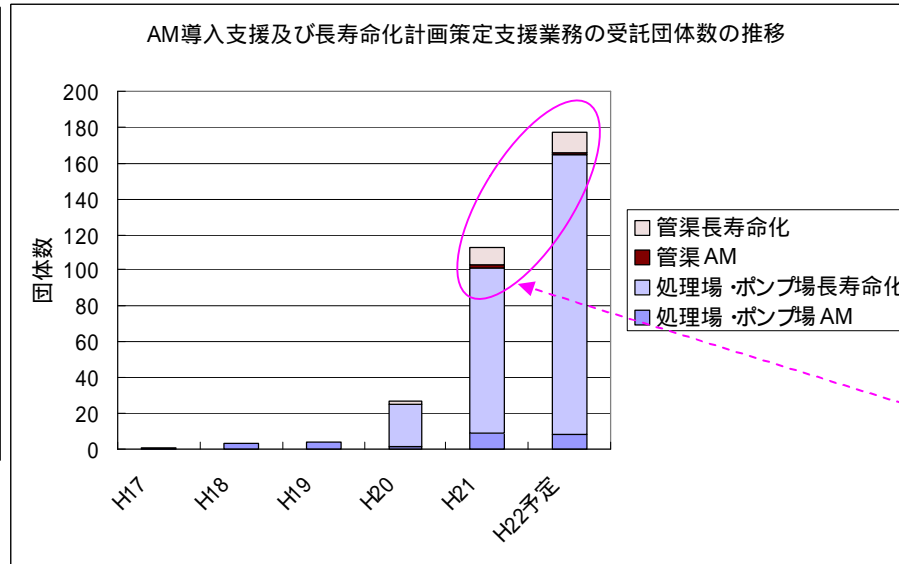


AMDBを活用した「経営企画支援」(企業会計化移行支援)もH20年度から継続の1箇所に加え、H21年度新たに1箇所受託したほか、H22年度も**新規に1箇所受託**の見込み。

# 下水道長寿命化計画策定支援の拡充

下水道長寿命化計画策定支援業務(再構築基本設計(長寿命化計画)業務)の受託箇所は大幅に増加中。

(H20年度 25箇所  
H21年度 102箇所  
H22年度 168箇所)



管路施設を対象としたAM導入支援、長寿命化計画策定支援も増加。

増加する受託箇所数、新たなニーズに対応するために、

管路施設アセットマネジメント手法導入マニュアル(案)

管路施設再構築基本設計(長寿命化計画)業務マニュアル(案)

を新たに策定。

アセットマネジメント手法導入マニュアル(案)～処理場・ポンプ場編～

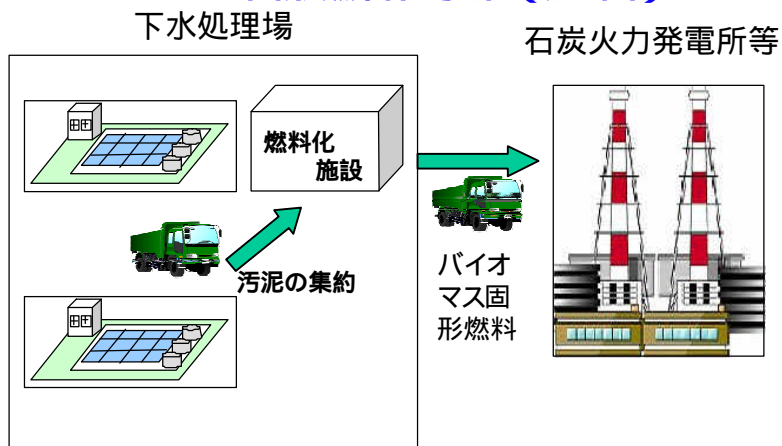
下水道再構築基本設計(長寿命化計画)業務マニュアル(案)

を改訂。

# 創エネ」技術、省エネ」技術

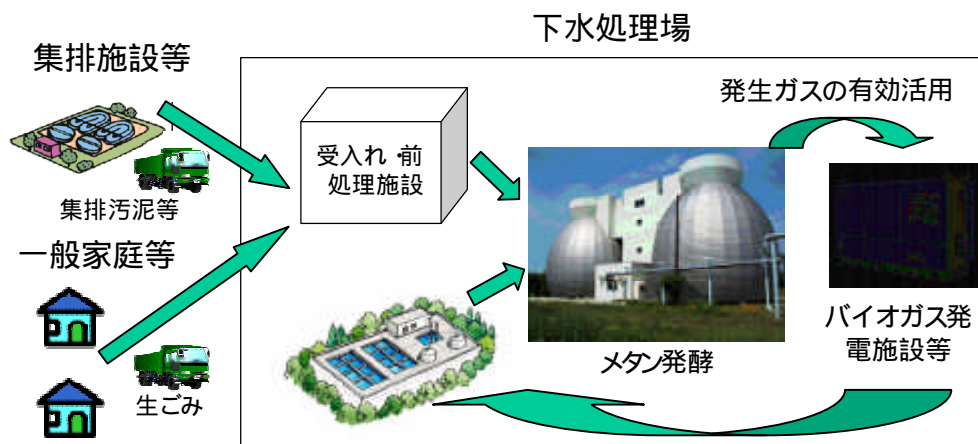
## 創エネ」技術の活用

### バイオマス固形燃料化事業 (概念図)



事業着手に向けた**具体的な検討・手続き支援及び事業実施支援を7箇所**から受託予定 (H21年度 7箇所)。

### 生ごみ等と下水汚泥の集約処理・バイオガス有効活用事業 (概念図)



**1箇所**から受託予定。

## 環境エネルギー簡易診断の実施

「安心サポート」で提供するサポートサービスの一環として、エネルギー、温室効果ガス等の観点から使用状況を評価する**環境エネルギー簡易診断**を4箇所で開催予定 (H21年度 4箇所開催)。

## 建設コンサルタントの環境に配慮した技術提案を評価

H22年度から総合評価方式において選択できる評価テーマとして、**環境負荷低減に配慮した技術提案**を追加。

# 次の時代を支える新たな技術の開発・改良・実用化

## 【固有研究】

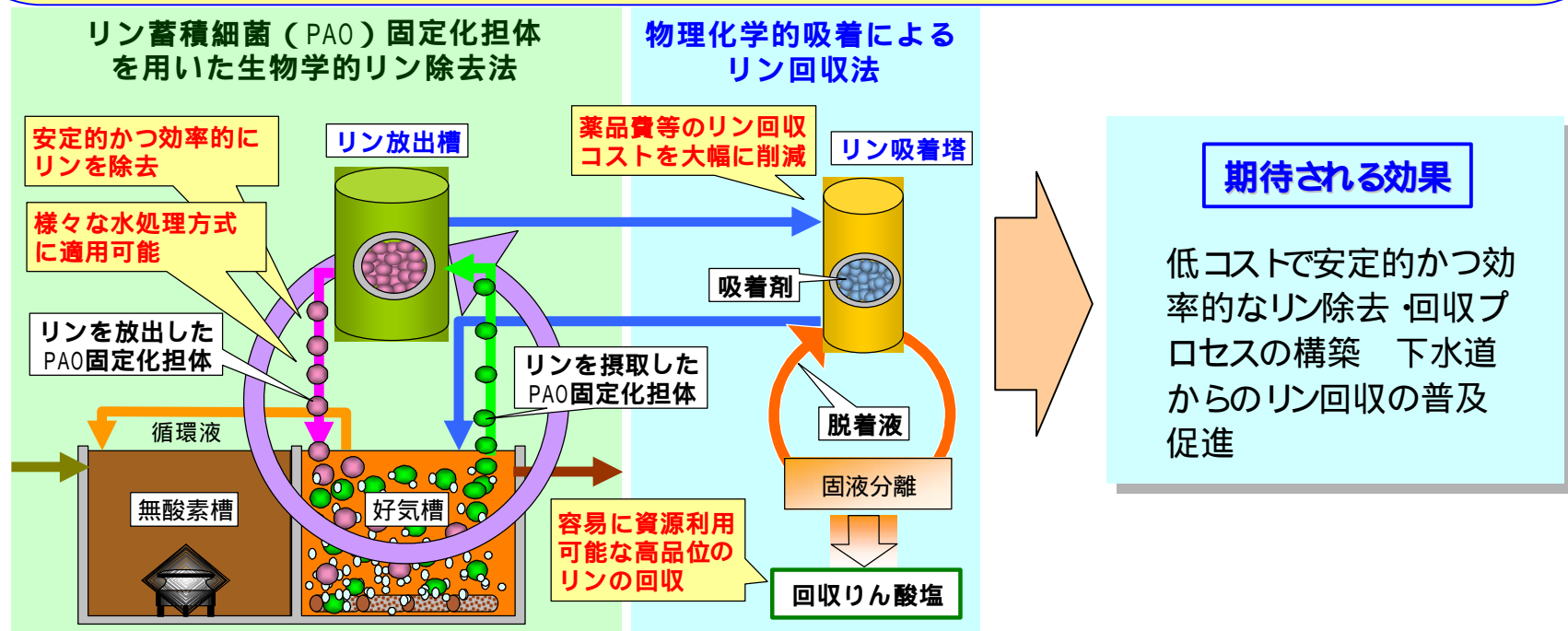
低コストで効率的なリン回収が行える「リン回収を目的とした安定的な生物学的リン除去法の開発」や「下水道施設の機能維持手法に関する調査」等4テーマを実施。

## 【新技術評価】

発生したメタンガスによる発電でエネルギー回収が可能な「エネルギー回収を目的とした嫌気性プロセス」の技術評価を実施予定。

## 【事後評価】

「防食塗装」や「水処理技術の再評価に関する調査」を新規着手し、4テーマ実施。



## 全国における下水道技術の継承に寄与する研修の実施

豊富な科目による実践的な研修

5コース、45専攻  
計65の研修を実施

最新のニーズに応えたタイムリーな研修

下水道事業におけるアセットマネジメント、下水道長寿命化計画等の研修の実施

地方研修について開催地の拡大等の拡充

全国7ブロック(北海道、東北、関東・北陸、関西、中国・四国、九州)の会場にて開催、連続割引の導入

平成22年度においては、

「下水道事業におけるアセットマネジメント」、「下水道長寿命化計画」などの実施に加え「地球温暖化防止と省エネ技術」専攻を新設した。

ニーズを踏まえた専攻の絞り込みによって研修の効率化を図った。

民間を対象とした「維持管理資格者としての処理場管理」【指定講習】を新設した。